

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	解剖生理学Ⅳ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	夜間部1年	学 期	前期	教室名	803
担 当 教 員	山元 昭彦				
実務経験と その関連資格	作業療法士として身体障害領域の病院に勤務。 各種心身機能に関する評価を実施。				
《授業科目における学習内容》 作業療法士にとって必要とされる正常な人体の基本構造と機能を理解することを目標とする。 神経系の構成と機能を説明できる。 内臓系と感覚器系の構成と機能を説明ができる。					
《成績評価の方法と基準》 本試験 : 60% 小テスト: 40%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 野村 巖編 医学書院					
《授業外における学習方法》 教科書をよく読み、資料など活用し、積極的な予習・復習に努めること。 授業終了後は国家試験の過去問問題集などで問題を解き、知識の確認をしましょう。わからないところをそのままにせず、友達や、先生に質問して解決すること。積極的にイラスト等を活用し、様々な構造物をイメージしましょう。友達同士で教え合いをしましょう。					
《履修に当たっての留意点》 ①人体の構造と機能という医学基礎知識を習得するには努力が必要です。 ②人体についての知識が増えれば増えるほど、他の科目も勉強は楽しくなります。 ③疾患や臨床については、解剖学の知識がなければ語れません。本気の専門家を目指して頑張ってください！！					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	神経系の区分と神経系の細胞を略説できる。神経系の発生を略説できる。脳室系の構造、髄膜の構成と機能を説明できる。末梢神経系と中枢神経の構成を説明できる。	教科書・配布資料	・教科書を読むこと。 (P225～P236) ・練習問題を解くこと。 ・友達同士で問題を出し合いながら学習すること。	
	各コマにおける授業予定	神経系の区分と神経系の細胞、末梢神経系と中枢神経系の構成 神経系の発生と脳室系、脳脊髄液と髄膜			
第2回	授業を通じての到達目標	大脳の所在と構成、大脳半球表面の区分と皮質の機能局在、大脳基底核と髄質の構成を説明できる。 代表的な大脳の水平断と前頭断を図示でき、かつ説明できる。	教科書・配布資料	・教科書を読むこと。 (P254～P263) ・練習問題を解くこと。 ・友達同士で問題を出し合いながら学習すること。	
	各コマにおける授業予定	中枢神経系(一):大脳			
第3回	授業を通じての到達目標	間脳と脳幹の外景をイメージできる。 間脳の構成と機能を説明できる。	教科書・配布資料	・教科書を読むこと。 (P241～P247、P252～P254) ・練習問題を解くこと。 ・友達同士で問題を出し合いながら学習すること。	
	各コマにおける授業予定	中枢神経系(二):間脳と脳幹の外景 間脳			
第4回	授業を通じての到達目標	習った主な構造物を、脳模型で同定できる。 脳室系、脳の血管も説明できる。	教科書・配布資料	・第1回～第3回までの復習をしておくこと。	
	各コマにおける授業予定	中枢神経系(三)脳模型での実習			
第5回	授業を通じての到達目標	中脳・橋・延髄・小脳の構成と機能を説明できる。 中脳の横断面(上丘レベルと下丘レベル)を図示できる。	教科書・配布資料	・教科書を読むこと。 (P241～P251) ・練習問題を解くこと。 ・友達同士で問題を出し合いながら学習すること。	
	各コマにおける授業予定	中枢神経系(四):中脳、橋、延髄、小脳			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	脊髄の外景、構成と機能を説明できる。脊髄神経の区分、構成(前根・後根・前枝・後枝)と機能を説明できる。脊髄神経の一般構造を図示できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P237～P241) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	中枢神経系(五):脊髄 末梢神経系(一)脊髄神経 脊髄神経全景		
第7回	授業を通じての到達目標	頸神経叢の構成、頸神経叢の皮枝と筋枝の分布を説明できる。腕神経叢の成り立ちを図示でき、かつ、それを説明できる。腕神経叢・胸神経・腰神経叢の分枝とその走行、分布を説明できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P274～P296) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	末梢神経系(二)脊髄神経 頸神経叢、腕神経叢の成り立ち、腕神経叢の分枝、胸神経、腰神経叢、仙骨神経叢、デルマトーム		
第8回	授業を通じての到達目標	神経線維種類により脳神経の分類、脳神経核の位置を概説できる。各脳神経の走行・分布(機能)、及び機能異常を説明できる。視覚伝導路を図示でき、かつ説明できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P296～P308) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	末梢神経系(三)脳神経		
第9回	授業を通じての到達目標	各種感覚器が列挙でき、機能・構造について説明できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P315～P328) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	感覚器系:外皮、視覚、平衡感覚、嗅覚、味覚		
第10回	授業を通じての到達目標	伝導路とは何かを理解できる。痛覚・温度覚、触覚・意識的固有感覚の伝導路を図説できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P264～P268) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	伝導路(一) 上行性伝導路		
第11回	授業を通じての到達目標	皮質脊髄路を図示でき、かつ説明できる。皮質脊髄路と皮質延髄路の違いを説明できる。反射弓と関連痛を自己学習できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P264～P268) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	伝導路(二) 下行性伝導路 反射弓と関連痛		
第12回	授業を通じての到達目標	内分泌腺の種類・構造・機能が列挙でき、説明できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P409～P414) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	ホルモンと標的器官、内分泌腺の種類		
第13回	授業を通じての到達目標	口から始まり、肛門に終わる一本の消化管、その各部の構造と機能を説明できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P371～P382) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	消化器系(一) 消化管		
第14回	授業を通じての到達目標	肝臓の外観、肝臓の組織構造、胆嚢と胆汁の分泌経路を説明できる。膵臓の外観と構成(外分泌腺・内分泌腺)、膵臓からの分泌物を列挙できる。腹膜の構造と機能、腹膜と臓器の関係を説明できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P382～P385) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	消化器系(二) 消化管		
第15回	授業を通じての到達目標	呼吸器系の働きと構成を概説できる。鼻腔、副鼻腔、喉頭の主な構造、左右の気管支の違いを図示できる。気管支の分岐、肺葉、肺区域と肺門、肺胞の構造を説明できる。胸膜と縦隔を略説できる。	教科書・配布資料	<ul style="list-style-type: none"> 教科書を読むこと。(P359～P368) 練習問題を解くこと。 友達同士で問題を出し合いながら学習すること。
	各コマにおける授業予定	呼吸器系 気道と肺、胸膜、縦隔		